

論壇

為替レートの動き注視

為替レートや株価の動きは経済の実態を反映する。最近の動きで注目すべきなのは主要国の為替レートの動きだ。今年の年初からの動きでみると、米国のドルが高くなってきていることが顕著で、人民元も高くなっている。一方で、欧州のユーロや日本円は安くなっており、ブラジルやメキシコの通貨も大幅に下落している。

為替レートは経済社会のさまざまな要素を反映して動くので、こうした動きをコロナ問題だけで説明できるものではない。ただ、ワクチンという切り口でみると、ワ

伊藤 元重

学習院大教授(国際経済学)

クチンの接種が進んでいる国は為替レートが上昇基調で、日本や大陸欧州のように接種に手間取っているところは為替レートが安い傾向となっている。為替レート以外にも、例えば四半期ごとに発表される経済成長率で見ても、米国や中国の成長率の回復は目覚ましいのに対して、日本の経済は相変わらず。

コロナ禍の経済回復

入ってもまだ2割程度というのには驚くべき状況だ。新型のウイルスなどの感染症の問題はこの後もいろいろな新種が出てくる可能性が大きいと指摘する専門家が多数いる。日本でワクチンの接種が非常に遅れてしまったことの問題点をきちっと検証しておく必要がある。

らずコロナ禍の中で低迷している。

さて、そうは言っても5月の後半からは日本に大量のワクチンが入ってきて、高齢者から本格的なワクチン接種が始まるようだ。その報道されているので、その報道が正しいことを期待したい。ワクチンは感染防止に対して万能ではないが、国民の多くがワクチンを

最近の報道によれば、優先してワクチン接種することになっていく医療関係者でも2割程度しか接種が終了していないという。医療関係者への接種はとくに終わったと思っていたのに、5月に

接種することで状況は大きく変わるはずだ。ワクチンを打った人でも感染する可能性は若干は残るだろうが、それでも多くの国民がワクチンを接種すれば集団免疫の効果も期待できるからだ。新型ウイルスの感染の広がりは免疫を持っていない人を介して次々に伝染することから起きるので、より多くの人が免疫を持っていれば伝染を阻止できる。

ワクチン接種が特効薬

できるだけ早く多くの人にワクチンを接種してもらうことがコロナの感染防止の最大の手段になる。海外からワクチンがきても、接種をする医療関係者が不足しているとか、あるいは自治体の運営が追いつかないというような課題

が指摘されているが、こうしたことを解消することを最優先にしなければいけない。

ワクチンの接種を加速化することが国民の命を守るために重要であることは言うまでもないが、実はワクチン接種の加速化が経済を回復させる上でも最大の特効薬となる。米国や中国の経済が急速に回復しているのを見ても明らかだ。日本でのワクチン接種は諸外国に比べて遅れてしまったが、それでもこれから接種が加速していくことを期待したい。そうした流れになれば、経済についても急速な回復が期待できるはずだ。今起きている第4波はなんとか耐えるとしても、夏までに第5波を起さないと経済にとっても大きな意味を持つ。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。